

計算条件： 最低水面 (零位)  
 隆起量： 平均 -1.21m(-2.58m ~ -0.30m)  
 Zo： 0.40m ~ 0.85m  
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとなる可能性がある。

座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

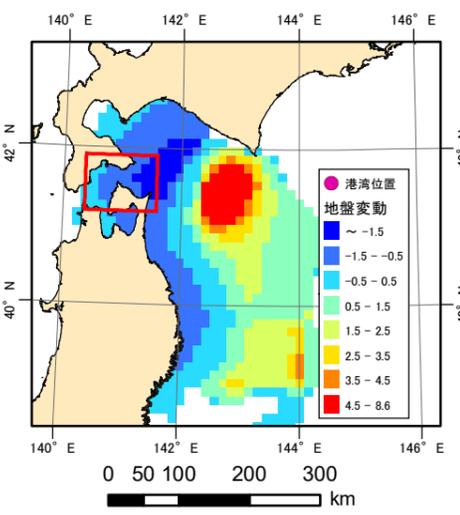
凡例

- 最大水位低下
- 10~最大10.7m
  - 5~10m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
  - 干出域
  - 露出域

- 引潮時最大流 [knot]
- 12 knot
  - 8 knot
  - 4 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では流速のみを表示した。

断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)モデル  
 モーメントマグニチュード Mw 9.1

本断層モデルは、内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・国土交通省数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))